

保存版

このパンフレットは
必ずお読みください。

ニチガス 都市ガス BOOK

ガスと安全な暮らしのために。

ニチガスに
するの、
賛成です！



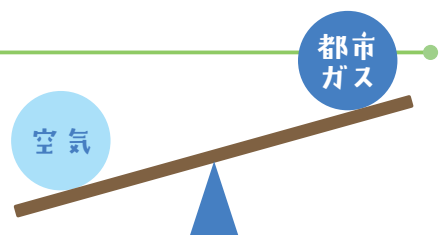
ニチガス ニスルー三世

都市ガスの性質を正しく知ってください



空気より軽いガスです

都市ガスは空気より軽く、もれると天井に近いところや、食器棚などの上部にたまる性質があります。



異変に気づきやすいようにニオイをつけてあります

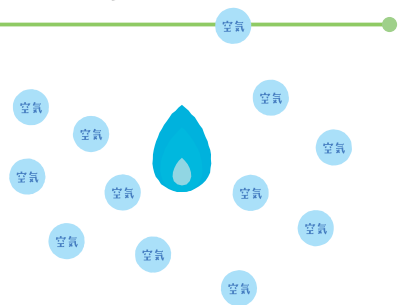
ガスそのものは無色無臭ですが、もれたときにわかるように、タマネギが腐ったようなニオイをつけてあります。



燃焼にはたくさんの空気を必要とします

ガスを完全に燃焼するためには、たくさんの空気(酸素)が必要です。

- * 換気不足などで不完全燃焼を起こすと一酸化炭素(CO)が発生します。
- * 都市ガスは、大量に吸い込むと、酸素不足により意識を失ったり、窒息することもあります。



都市ガスはクリーンなガスです

都市ガスはクリーンな天然ガスが原料です。地球温暖化を招くCO₂(二酸化炭素)や、大気汚染、酸性雨の原因となるSO_x(硫黄酸化物)、NO_x(窒素酸化物)の排出量が少なく、石油や石炭に比べて環境にやさしいエネルギーです。

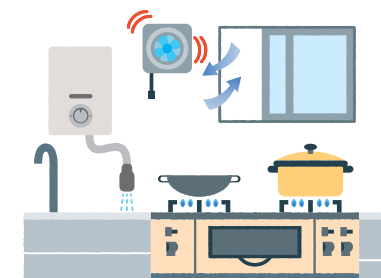


都市ガスを使うときの 注意点とポイント

その
1

ガスを使うときは必ず換気をしてください

ガスの炎に限らず、火が燃えるためには新鮮な空気(酸素)が必要です。普段の環境でガスを燃やすと、生活に必要な“熱”が発生すると共に、二酸化炭素(CO₂)が発生します。二酸化炭素(CO₂)は炭酸飲料の成分でもあり、人の吐く息にも含まれているもので、基本的には問題ないものです。ところが、閉めきった室内で火を使い酸素が不足してくると、不完全な燃焼により二酸化炭素(CO₂)が作られず、人体に有害な一酸化炭素(CO)が多く発生する可能性があります。これを防ぎ、安全に火を使うために必要なことが“換気”です。排気を含んだ室内の空気を外気と入れ替えて、燃焼に必要な酸素を取り入れることが大切です。



一酸化炭素中毒に注意しましょう

まんいち多くの一酸化炭素(CO)が発生し、それを体内に取り入れてしまうと一酸化炭素中毒になるおそれがあり、大変危険です。一酸化炭素(CO)とは一体どのようなものか、知っておくことも大切です。

- 一酸化炭素(CO)は、無色・無臭。気づきにくく、毒性は強力で、少量の吸引でも危険です。
- 軽い中毒症状は頭痛・吐き気など、風邪に似ていますが、手足がしびれて動けなくなることがあります。
- 重症になると、脳細胞を破壊したり、意識不明になったり、死亡にいたることもあります。

空気中の一酸化炭素濃度(CO(%))と
吸引時間による中毒症状

CO(%)	呼吸時間による中毒症状
0.04	1~2時間で前頭痛や吐き気 2.5~3.5時間で後頭痛
0.16	20分で頭痛・めまい・吐き気、2時間で死亡
0.32	5~10分で頭痛・めまい、30分で死亡
1.28	1~3分で死亡

ガス・一酸化炭素(CO)警報器

ガスもれや不完全燃焼による一酸化炭素(CO)が発生した場合、ランプと警報音でお知らせします。24時間ガスもれや一酸化炭素(CO)発生を監視する暮らしの見張り番です。また、火災が発生したときに、お知らせする機能のついた警報器もあります。

交換期限(5年)が過ぎる前に、お取り替えが必要です。



異常に気がついたらすぐに連絡を!

ガス臭い、警報器が作動したなど何か気がかりなことがある場合は、ガス事業者に連絡しましょう。ガス事業者は24時間・365日の保安体制で緊急時に備えています。不完全な燃焼は、換気が不十分である場合のほか、誤った方法でガスを使用した場合などにも発生します。



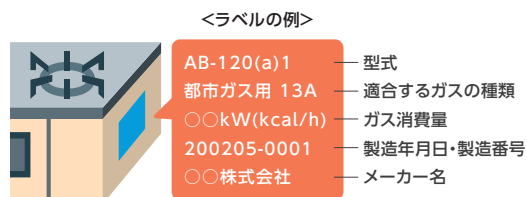
都市ガスを使うときの 注意点とポイント

その
2



都市ガス用**13A**のガス機器を使用してください

ニチガスは、**13A**のガスをお届けしています。ガス機器には、適合するガスの種類を示したラベルが貼られています。ガスの種類とガス機器が合っているか、必ずラベルをご確認ください。ガスの種類と合っていないと正常な燃焼をせず、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。**



青い炎でご使用ください

ガスの炎は必ず**青い炎**でご使用ください。赤っぽい炎は、不完全燃焼を起こしています。



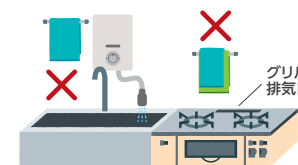
調理中はガス機器から**目を離さない**でください

- 別の用事がある場合は、いったん火を止めましょう。
* 揚げものをしているときやグリルを使用しているときにその場を離れると、過熱に気づかず火災の原因になるおそれがあります。
- 安全装置が付いていても、自分の目で確認することが大切です。
- 揚げもの調理は、調理油過熱防止装置(センサー)の付いている側で行ってください。
- コンロの火が衣服に着火しないようご注意ください。
- メーカー純正品以外の部品(ガスコンロ用省エネリングなど)の使用は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こす原因となる場合がありますので、注意しましょう。
- マッチ等を使用して点火する機器は、マッチ等を点火後に器具栓を開いてください。



ガス機器のまわりに**燃えやすいものを置かない**でください

キッチンペーパーやタオルなどをガス機器のまわりに置かないようにしましょう。

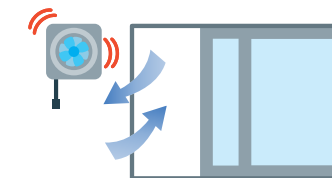


- ガス機器は取扱説明書の記載に従い、周囲との離隔距離を正しくとってください。
- 屋外機器の排気口付近にも可燃物を置かないようにしてください。
* 炎や排気の熱で発火し、火災の原因になるおそれがあります。



お部屋の**換気**を忘れないでください

- 室内でガス機器を使用するときは、換気扇を回したり、ときどき窓を開けるなどして**十分に換気**をしてください。
- ガス機器で不完全燃焼が起こると危険な**一酸化炭素(CO)**が発生します。

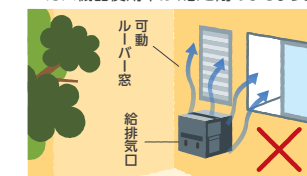


ガス機器の**給排気**に注意してください

ガス機器・給排気口の付近に窓がある場合

- 燃焼した排気を直接屋外へ排出するガス機器や、屋内機器の排気口付近にある建物開口部(窓、換気口など)から排気が室内に流入し、不快なおいけがたり気分が悪くなるおそれがあります。
- 設置状況によっては、ガス機器等の移設が必要な場合があります。
* 排気が室内に流入し、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ガス機器使用中は、窓を閉めましょう。



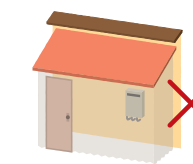
工事を行う場合は、ガス機器の使用にご注意ください。

ガス機器・給排気設備をビニールシートで覆った場合は、ガス機器を使用しないでください。



- * 増改築工事などで排気筒を取り外したり、塗装工事などで給排気設備を覆われることがあります。
- * 改装及び工事完了後、ガス設備の点検・調査を希望される場合は、ガス事業者へご依頼ください。

屋外に設置されたガス機器や屋内ガス機器の排気口を増改築により屋内化したり波板などで囲わないでください。



- * 排気が屋外に排出されず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。
- * ガス機器が正常に着火しない場合、機器内部にたまった未燃ガスに異常着火し、ガス機器を損傷するおそれがあります。

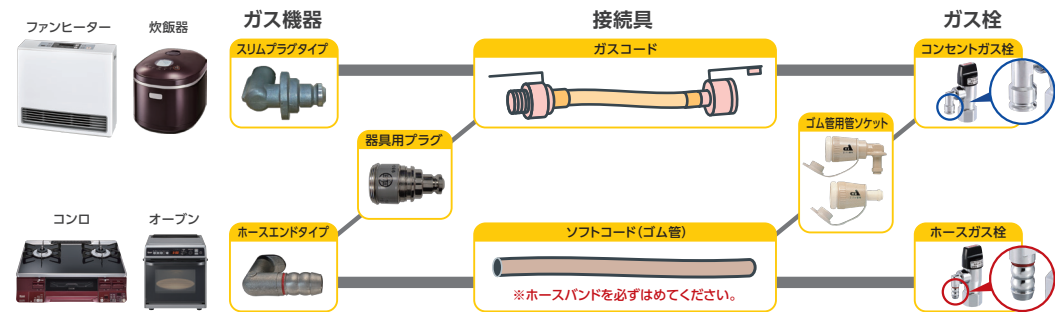


都市ガスを使うときの 注意点とポイント

その
3

ガス機器を接続するときは形と大きさを確認してください

ガス機器・ガス栓の接続口のタイプはそれぞれ2種類。接続機器をガス機器・ガス栓へつなぐときは形状やサイズを確認し、それぞれに合ったものを使用してください。



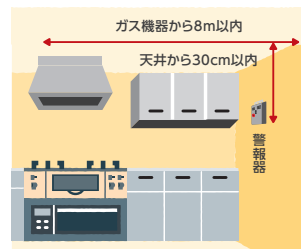
ソフトコードは大きさが9.5mmのタイプと13mmのタイプがあります。

- 記載しているガス機器は一例です。ガス機器を購入される際に、接続口の形と大きさを確認いただき、必ず取扱説明書をよくお読みいただいてから、接続してください。
 - 上記以外の接続方法については、ガス機器購入店へお問い合わせください。
- * 形状やサイズが合っていないものを接続した場合、接続箇所からガスがもれ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。

ガス警報器は正しくセットし、正しく使用してください

▶ 警報器が適切な位置に設置されているかを確認しましょう。

都市ガス用の警報器は、右の図のように天井に近い場所に設置し、周りにしゃへい物がないことを確認してください。



▶ 警報器の期限を確認しましょう。

警報器の交換期限は5年です。交換時期を迎えていないかを確認しましょう。

▶ 警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。

警報器を設置していたにもかかわらず、電源プラグが抜かれていたため、ガスもれが感知されず、発見が遅れたり、事故が拡大したケースがあります。警報器は電源が入っていないと作動しませんので、電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。

▶ 警報器は換気扇から離して設置しましょう。

ドア付近など風通しの良い所や、食器棚などの上部(気流の流れがさまたげられるところ)は避けましょう。

▶ 安全設備はときどき作動点検しましょう。

ガス漏れ警報器や自動ガス遮断装置などの作動点検をしていますか。安全設備についても、その設置場所や機能を確認、操作方法や避難方法の訓練をおこなしましょう。



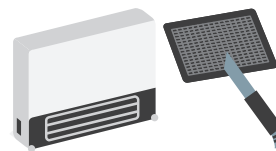
ガス機器の 点検とポイント



ガス機器は定期的にお手入れをしてください

取扱説明書をよく読み、安全な使用や日常管理の方法を確認しましょう。ガス機器や給排気設備は、ときどき清掃、点検しましょう。

暖房機器



機器背面にあるエアフィルターを定期的にお掃除しましょう。

テーブルコンロ



バーナーが目詰まりしないよう、時々器具ブラシなどでお掃除しましょう。

小型湯沸器

小型湯沸器の上部(防熱板の下)に汚れや詰まりがないかチェックしましょう。汚れや詰まりがある場合や使用中に火が消えてしまう場合は、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください(有償)。



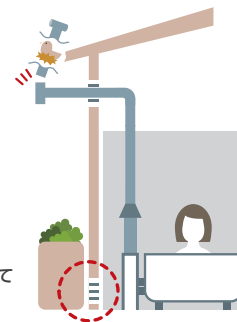
* ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。

排気筒(煙突)

排気筒(煙突)内に鳥が巣を作っていないか?

地震・台風・強風・大雨・大雪のあとは、排気筒(煙突)のはずれや、壊れがないかどうか確認してください

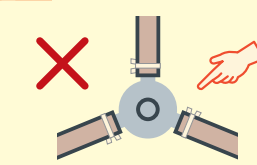
給気口がふさがっていませんか?



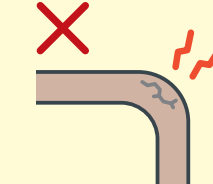
- 異常を見つけた場合は、ただちに使用を中止し、ガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。
- 隠ぺい部に設置されている排気筒(煙突)も点検してください。腐食により穴が開いたりはずれたりすると、排気が室内に入り込み、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

* いずれも放置しておくと、ガス機器が正常に燃焼しない、あるいは排気が室内に流入するなどして、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

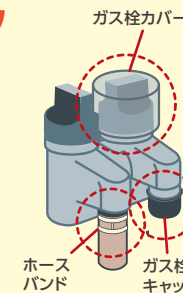
こんなところも要チェック



三つ又は危険!



ひび割れや固くなったもの、古いゴム管はお取り替えてください。



ホースバンド ガス栓キャップ

使わないガス栓にはガス栓カバー、ガス栓キャップをかぶせてください。ゴム管はガス栓の赤い線まできっちり差し込み、ホースバンドで留めてください。

ガス栓キャップは、お使いにならないガス栓の口部に傷や汚れがつくことを防止するためのものであり、ガスを止めるために設置するものではありません。

* お使いにならないガス栓は、誤って開けないように注意してください。



ガス機器の点検制度

「特定保守製品」をご購入されたお客さまは、 「長期使用製品安全点検制度」の対象となります

製品が古くなると部品等が劣化（経年劣化）し、火災や死亡事故を起こすおそれがあります。「長期使用製品安全点検制度」では、消費者自身による点検が難しく、経年劣化による重大事故のおそれが多い以下の製品を特定保守製品に指定しています。

対象製品を購入した際は、所有者登録を行ってください。登録すると適切な時期にメーカーから点検通知が届きますので、点検を受けましょう。

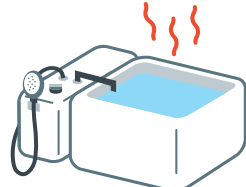
対象商品 (特定保守製品)

* 特定保守製品には、機器本体またはリモコンに「特定保守製品」と表示されています。

都市ガス・LPガス



- 屋内式ガス瞬間湯沸器
屋内に設置してある
ガス瞬間湯沸器



- 屋内式ガス風呂がま
屋内に設置してある
ガス風呂がま

石油

- 石油給湯器
- 石油風呂がま
- FF式石油温風暖房機

電気

- ビルトイン式電気食器洗浄機
- 浴室用電気乾燥機

購入から 点検までの 流れ



販売者から点検制度についての説明を受けます。

* 工務店、不動産販売業者からの場合もあります。



所有者票を返送します。
(所有者登録)



点検時期が来たら通知が届きますので、点検を依頼します。

* 点検には料金がかかります。



点検を受けます。

- 屋内に設置されているガス機器のほか、屋外に設置されている製品や平成21年4月1日より前に製造・輸入された対象製品についても、点検可能ですので、メーカーにお問い合わせください。(製品によっては、点検結果で整備が必要な場合に整備用部品がない場合があります。)
- 賃貸住宅・アパートなどで製品を家主さまが設置・所有している場合には、家主さまが所有者登録・点検のお申し込みをしてください。
- 所有者登録をいただいた情報は、点検通知、リコールなどの製品安全に関するお知らせに使用いたします。
- 点検時期の通知を受けるためには、所有者情報の正確な登録が必要です。登録が済んでいない場合や変更が必要な場合には早めにメーカーへお知らせください。
- 所有者登録にご不明な点がございましたら、特定製造事業者（メーカー）へお尋ねください。
- ガス機器を安心して長くご使用いただくためにも、法定点検の他に定期的な点検をおすすめします。

本制度のお知らせは、経済産業省ホームページでご覧いただけます。

http://www.meti.go.jp/product_safety/

もしくは

製品安全ガイド

検索



重要なお知らせ

その
1

小型湯沸器をご使用のお客さまへ

一酸化炭素中毒にご注意ください。

換気忘れや換気不足、ホコリ詰まりによる不完全燃焼で一酸化炭素中毒をおこし、重症の場合は死亡事故につながるおそれがあります。

換気をしてください。

小型湯沸器を使用中は必ず、換気扇を回すか、窓を開けてください。新鮮な空気が不足すると、不完全燃焼をおこすおそれがあります。

長時間の連続使用はおやめください。

小型湯沸器の長時間連続使用は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因となり、大変危険です。絶対におやめください。

くり返し点火はおやめください。

換気が十分でも使用中に火が消える場合は、不完全燃焼しているおそれがあります。使用中に火が消えた場合は、再点火をくり返さないでください。

窓を開ける



換気扇を回す



お風呂に給湯しない
ください

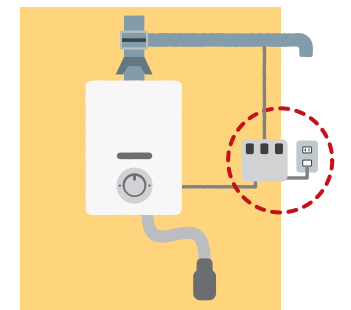
洗濯機に給湯
しない
ください

シャワー、洗髪は
おやめ
ください

排気ファン付きの機器を ご使用のお客さまへ

排気ファンの付いている小型の湯沸器をご使用の際は、必ず排気ファンが回っていることを確認してください。

* 特に電源コンセント、コントロールボックスの結線は安全装置が働かないおそれがありますので絶対に抜かないようにしてください。



異常を見つけた場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げ店
またはガス事業者にご連絡ください。



重要なお知らせ

その
2



浴室内に設置されている煙突式風呂がまをご使用のお客さまへ

一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

煙突や給気口など『給排気設備』に不備があると一酸化炭素中毒をおこし、重症の場合は死亡事故につながるおそれがあります。

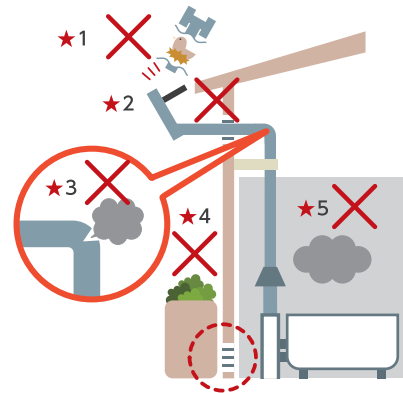
煙突や給気口などをときどき点検してください。

- ★1 鳥の巣などの異物等で詰まっていますか？
- ★2 固定金具がなかったり、グラついていますか？
- ★3 穴あきやはずれがありませんか？
- ★4 給気口や換気口がふさがれていませんか？
- ★5 イヤな臭いがしませんか？

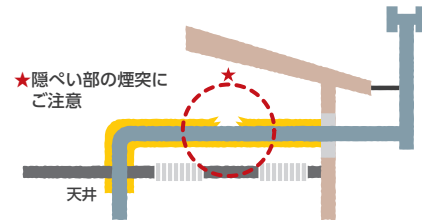
※ 地震、台風の後、外にある煙突が壊れていないか点検してください。

※ 地震や台風、大雪などのあとに、機器を使用する場合は、煙突のはずれや、壊れないことを確認してからお使いください。

※ 天井裏などの隠ぺい部にある煙突で事故が起こっています。



煙突のはずれや煙突に巻いてある断熱材に穴があいていないか、シミがないかを点検してください。異常を見つけた場合は、使用を中止し、専門修理業者にご連絡ください。点検口がない場合は設置をお願いします。

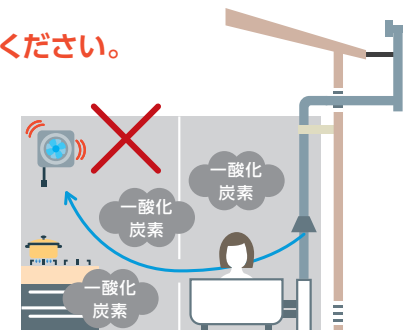


使用中にイヤな臭いがしませんか。

使用中にイヤな臭いや目がチカチカする場合は、排気ガスがあふれている可能性がありますので、ただちに使用を中止し、ガス機器購入店または修理店にご連絡ください。

お風呂を沸かしているとき、換気扇を回さないでください。

お風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときに、台所や浴室内の換気扇を使用すると風呂がまの排気が浴室内に逆流し一酸化炭素中毒を起こす場合があります。



安全型機器にお取り替えください。

屋外設置式や密閉式もしくは不完全燃焼防止装置付きの安全な機器にお取り替えください。

煙突式風呂がま・湯沸器をご使用のお客さまへ

一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

煙突や給気口など『給排気設備』に不備があると一酸化炭素中毒をおこし、重症の場合は死亡事故につながるおそれがあります。

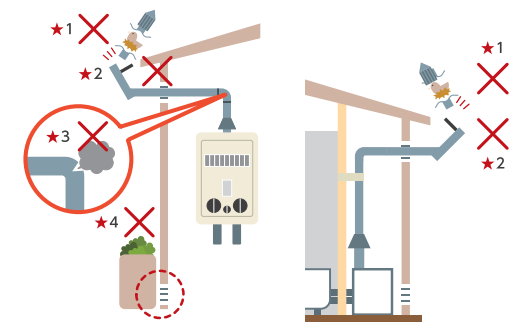
煙突や給気口などをときどき点検してください。

- ★1 鳥の巣などの異物等で詰まっていますか？
- ★2 固定金具がなかったり、グラついていますか？
- ★3 穴あきやはずれがありませんか？
- ★4 給気口や換気口がふさがれていませんか？

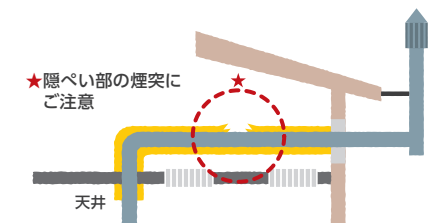
※ 地震、台風の後、外にある煙突が壊れていないか点検してください。

※ 地震や台風、大雪などのあとに、機器を使用する場合は、煙突のはずれや、壊れないことを確認してからお使いください。

※ 天井裏などの隠ぺい部にある煙突で事故が起こっています。



煙突のはずれや煙突に巻いてある断熱材に穴があいていないか、シミがないかを点検してください。異常を見つけた場合は、使用を中止し、専門修理業者にご連絡ください。点検口がない場合は設置をお願いします。



使用中にイヤな臭いがしませんか。

使用中にイヤな臭いや目がチカチカする場合は、排気ガスがあふれている可能性がありますので、ただちに使用を中止し、ガス機器購入店または修理店にご連絡ください。

安全型機器にお取り替えください。

屋外設置式や密閉式もしくは不完全燃焼防止装置付きの安全な機器にお取り替えください。



重要なお知らせ

その
3



排気ファンが付いている煙突式風呂がま・湯沸器をご使用のお客さまへ

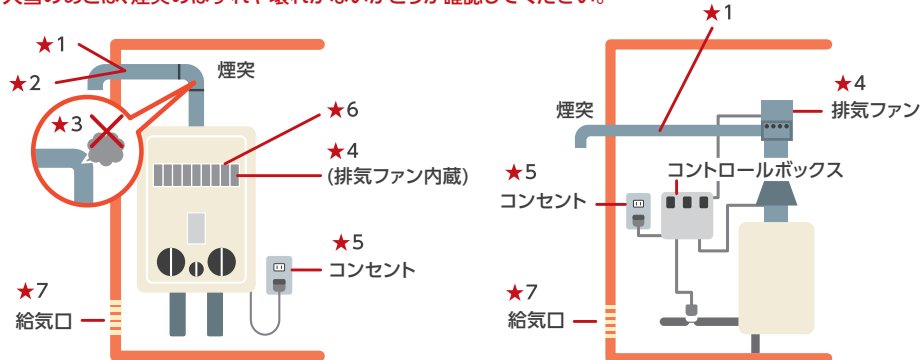
一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

煙突や排気ファンなど『給排気設備』に不備があると一酸化炭素中毒をおこし、重症の場合は死亡事故につながるおそれがあります。

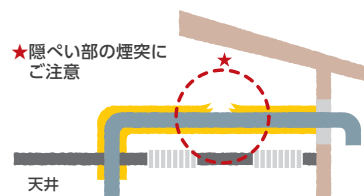
煙突・排気ファンなどの「給排気設備」をときどき点検してください。

- ★1 鳥の巣などの異物等で詰まっていますか？
- ★2 固定金具がなかったり、グラついていませんか？
- ★3 穴あきやはずれがありませんか？
- ★4 ご使用時にファンが回転していますか？
- ★5 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？
- ★6 機器の給気口にホコリが詰まっていますか？
- ★7 給気口がふさがっていませんか？

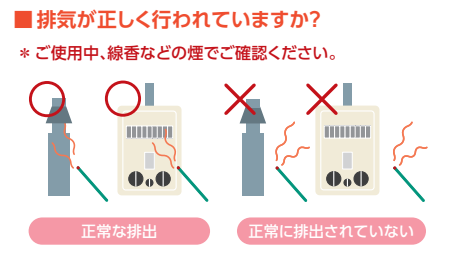
* 地震や大雪のあとは、煙突のはずれや壊れないかどうか確認してください。



* 天井裏などの隠ぺい部にある煙突で事故が起こっています。



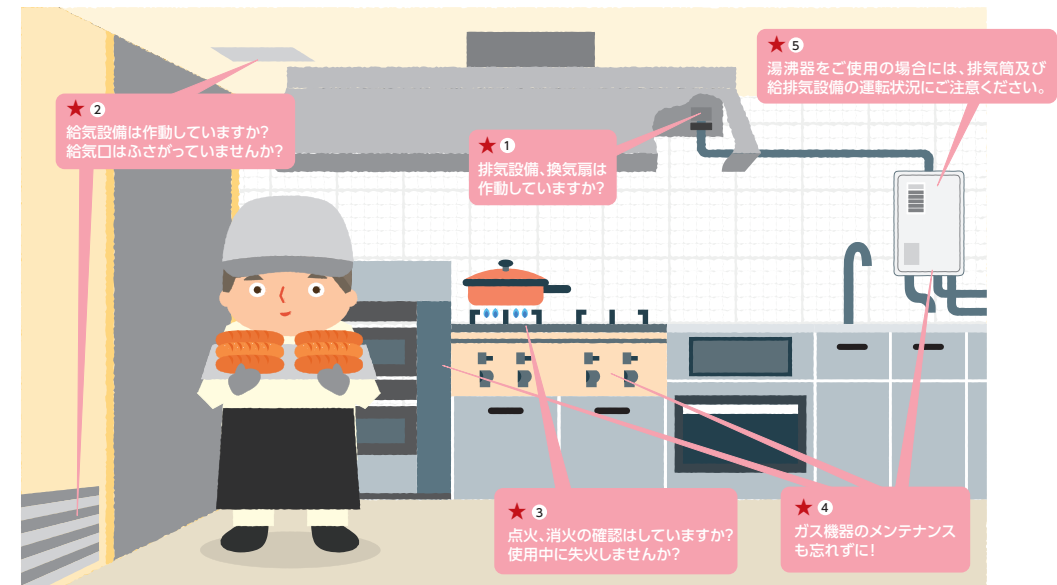
- 煙突はずれ。
- 断熱材のシミや穴あきなどを点検してください。
- 点検口がない場合は設置をお願いします。



安全型機器にお取り替えください。

屋外設置式や密閉式もしくは不完全燃焼防止装置付きの安全な機器にお取り替えください。

業務用にガスをお使いのお客さまへ 従業員の皆さままでご確認ください



- ★1 換気を行わないと排ガスが充満し空気が不足します。ガス機器が不完全燃焼を起こして一酸化炭素中毒の原因になります。(冷暖房中も忘れずに！)
- ★2 ガス機器が燃焼するには新鮮な空気(酸素)が必要です。空気(酸素)が不足すると一酸化炭素(CO)が発生します。また、密閉された厨房等の場合は給気設備の故障により給排気バランスがずれ、排気設備が作動していても排ガスが排出されない場合があります。
- ★3 点火、消火の確認は確実に目視で行ってください。また、使用中も煮こぼれなどによる立ち消えにご注意ください。
- ★4 ガス機器は取扱説明書をよく読み正しく使いましょう。また、厨房内は油の蒸気等の影響もあります。ガス機器使用中に一酸化炭素(CO)が発生してくるおそれがありますので、ガス機器のメンテナンスは定期的に行うと安心です。
- ★5 排気ガスを排気筒で屋外に排出するタイプの湯沸器のフード受け設置の場合は特に給排気設備を確実に運転するようにご注意ください。また、排気筒への防火ダンパーの設置は禁止されています。

* ガス機器と側壁との離隔が十分か、業務用オープン等の後板は正しく装着されているか、ご確認の上ご使用ください。

危険を感じたときは

- お客さまをすぐに安全な場所に誘導してください。
- あわてずに! あせらずに! 身の安全を確保したうえで迅速に使用中のガス機器を止め、ガス栓を閉めてください。



重要なお知らせ

その
4



業務用換気警報器を設置されたお客さまへ

- 業務用換気警報器は、一酸化炭素(CO)の発生を予防するものではありません。厨房内の環境を監視し、換気を促す警報器です。
- ガスもれ警報機能はありません。業務用換気警報器を設置した場合でも、一般のガス警報器をご使用の場合はそのままご使用ください。



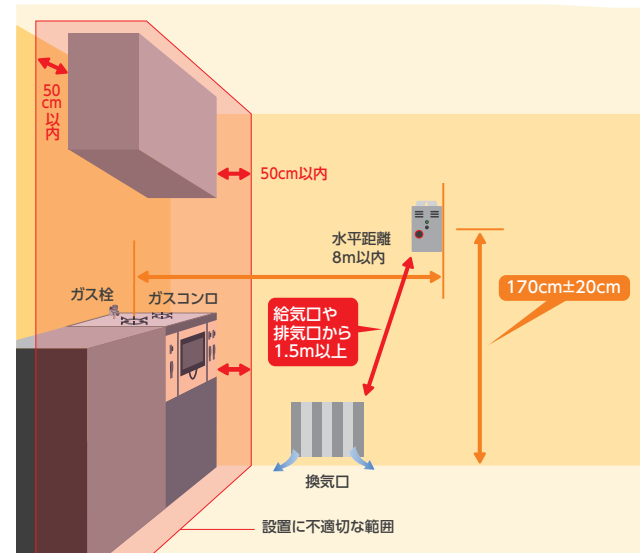
交換期限6年間

* 警報器には交換期限があります。
交換期限が過ぎる前にお取り替えが必要です。

正しい位置に設置してください

- 警報器の設置場所は、適切な監視を行うため正しい位置に設置される必要があります。
 - ・ガス機器を設置してある部屋と同一室内
 - ・ガス機器からの水平距離が50cm以上、8m以内、床からの高さが170cm±20cm以内
- * 設置場所の移動や撤去は絶対にお止めください。

<正しい設置位置>



<誤った設置例>



* 扉の中などに移動すると監視できません。

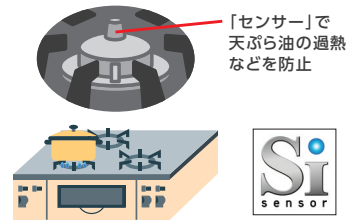
発報したときは

- 一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。下記の処置とあわせて、ガス事業者に連絡してください。
 - ・ガス機器の使用を中止
 - ・換気扇などの換気装置が動いていることの確認
 - ・ドアや窓を開けて換気
 - ・メーカーや販売店等に機器の点検・修理の依頼

より安全性能の高い機器へのお取り替えをおすすめします

センサーコンロ

現在製造されているコンロは、すべてのバーナーに、煮こぼれや点火ミスなどで火が消えたときにガスをストップする立ち消え安全装置、天ぷら油の温度が約250℃になると、ガスを止め火災を防止する調理油過熱防止装置、消し忘れ消火機能、早切れ防止機能など、安全便利機能を搭載しています。



不完全燃焼防止装置付

ファンヒーター

フィルターの目詰まりなどで新鮮な空気が不足したら、異常を検知し自動的にガスを止めます。



小型湯沸器

ホコリにより熱交換器の目詰まりなどがあつたとき、炎の異常を検知し、自動的にガスを止めます。



警報器

ガス警報器

ガスもれを素早く感知してブザーや音声で知らせます。



一酸化炭素(CO)警報器

不完全燃焼などで発生した一酸化炭素(CO)を感知してブザーや音声で知らせます。

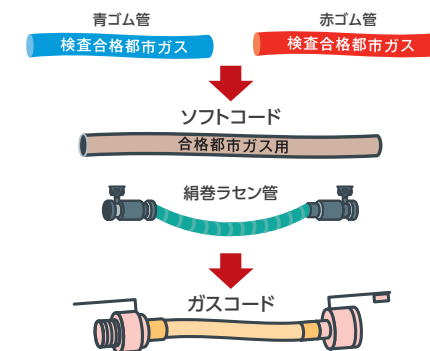


ソフトコード

赤・青ゴム管にかわり、耐久性が向上したソフトコードが販売されています。現在赤・青ゴム管を使用されている場合は、早急にソフトコードにお取り替えください。

ガスコード

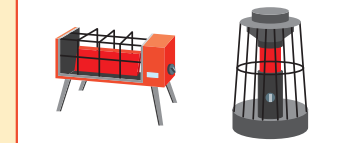
絹巻ラセン管にかわり、耐久性が向上したガスコードが販売されています。現在絹巻ラセン管を使用されている場合は、早急にガスコードにお取り替えください。



金網ストーブはファンヒーターへのお取り替えをおすすめします。

- 赤熱面(金網部分)に変形や、やぶれなどの異常がある場合は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。
- 不完全燃焼防止装置付ファンヒーターなどへお取り替えください。
- 暖房シーズン前に点検をおすすめします。

お取り替えをおすすめ

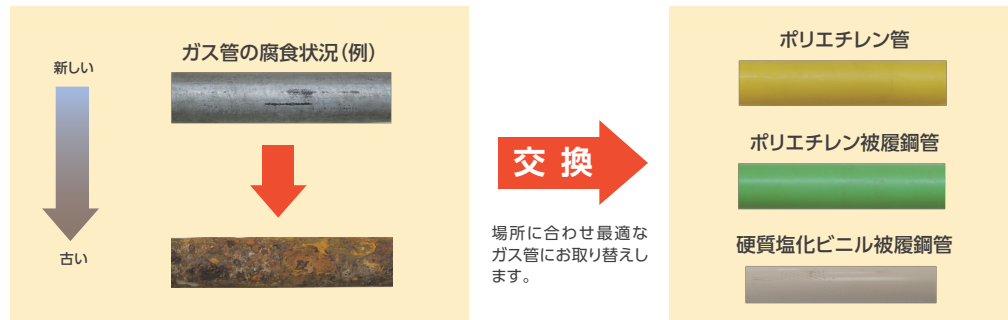




古いガス管の管理と注意点

古くなったガス管は**交換**してください

土の中に埋められている白ガス管(亜鉛メッキ鋼管)は、交換しましょう。

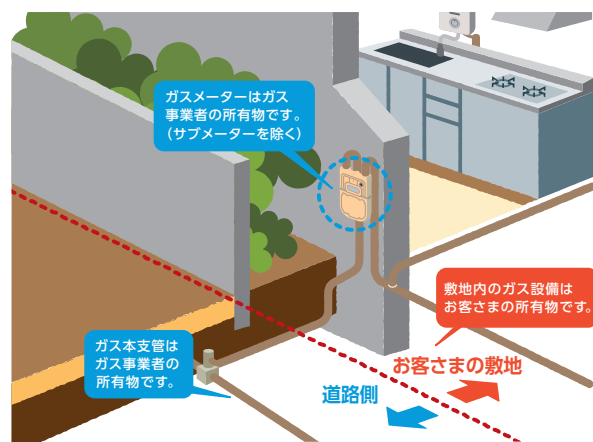


- お取り替えをご検討いただきたいのは、お客さまの所有物となる敷地内のガス管です。お取り替えは有償で行わせていただきます。
- 現在ガス管の材料として使用されているポリエチレン管や被覆鋼管は、腐食や地震に強く、地震対策としても有効です。
- 場所に合わせた、最適ご提案をさせていただきますので、ガス事業者までお問い合わせください。

<白ガス管とは?>

鋼管表面に亜鉛メッキを施したガス管をいいます。白ガス管は、強度・耐食性・施工性等を兼ね備えたガス管の材料として昭和20年代から一般的に使用されてきました。長年土の中に埋められた白ガス管は、土の性質や水分などの影響により徐々に腐食が進行し、ガスもれが発生する場合があります。

* 土質や環境により腐食の度合いが異なります。



- * 改装や敷地内を掘る工事をされるときはガス事業者へご連絡ください。
- * ガスメーターは計量法に基づき、検定満期となる前にガス事業者がお取り替えいたします。(10年または7年)



地震のときの対応と注意点

地震のときは、身の安全を最優先に確保してください

➤ **まずは身の安全を確保しましょう。**

まずは机の下に身を隠すなどしてください。震度5相当以上の地震の場合は、ガスメーター(マイコンメーター)が自動的にガスをシャ断します。あわてず落ち着いて行動しましょう。



➤ **揺れがおさまったら、ガスの火を消してください。**

ガス機器を使用していた場合、ガス機器のスイッチを止めて、ガス栓を閉めてください。



地震のあと、ガスをふたたび使うとき

次のことを確認してください。

- ガス機器周辺でガスの臭いがしないか。
- ガス機器本体に変形や破損などの異常がないか。
- 煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか。(はずれ・へこみ・穴あきがないか目視で確認してください)
- ガス接続具が正しく接続されているか。(接続具にはずれがないか目視で確認してください)



危険を感じたときは

- 異常を確認した場合は、火災や一酸化炭素中毒など、事故のおそれがありますので、メーカーや販売店などへ点検・修理を依頼するとともに、ガス事業者へご連絡ください。
- ガス機器を使用していて目がチカチカしたり、気分がわるくなったり、不快な臭いがした場合は、ただちにガス機器の使用を中止し、修理の手配をしてください。



もしもガスが止まった ときの対応

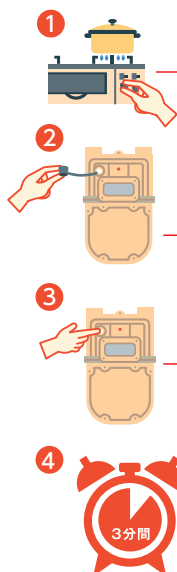
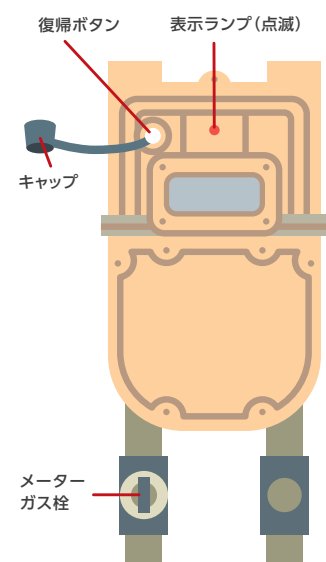
ガスが出ないときには、**ガスメーター**を ご確認ください

ご家庭のすべてのガス機器が使えない場合は、ガスメーターの表示ランプを確認してください。点滅している場合は、**周囲がガス臭くないことを確認**してから復帰の手順を行ってください。まんいちガス臭い場合は、復帰の手順を行わず、すぐにガス事業者へ連絡してください。

ガスメーターには、右記のような場合に安全装置がはたらいて自動的にガスを止める機能があります。安全装置がはたらいた場合、表示ランプ(赤)が点滅します。

- 大きな地震が発生した場合
- 多量にガスがもれた場合
- ガスの圧力が所定の値より低くなった場合
- ガス機器を長時間使用した場合

復帰の手順



器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。屋外のガス機器も忘れずに。

使っていないガス栓は閉まっていることを確認してください。このときメーターガス栓は閉めないでください。

復帰ボタンのキャップを手で左に回し、キャップをはずしてください。

復帰ボタンを奥までしっかり押して、表示ランプが点灯したらすぐに手を離す。

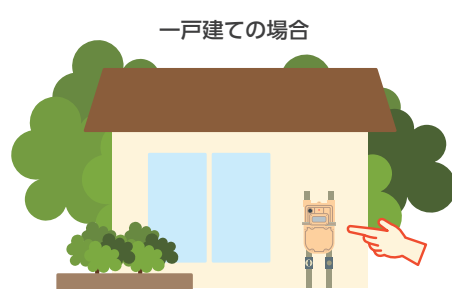
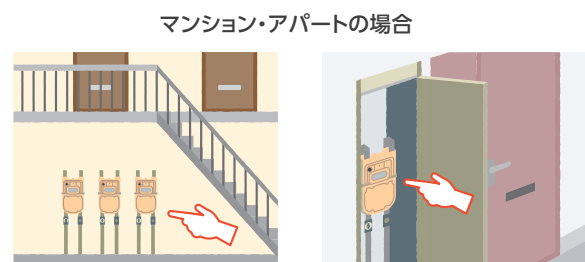
復帰ボタンが元に戻り、表示ランプが再点滅します。その後、キャップを元に戻しておきます。

約3分間お待ちください。

この間ガスもれがないか確認していますので、ガスを使わないでください。3分経過後に、再度ガスメーターをご確認いただき、表示ランプの点滅が消えていれば、ガスが使えます。

* 正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合はガス事業者へ連絡してください。

▶ ふだんからガスメーターの位置を確認してください。



もしものときの 対応と注意点



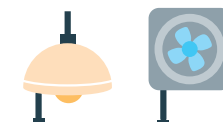
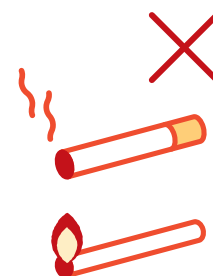
もしも**ガス臭い**と感じたら

室内の火は**すべて消し**、マッチをすったり、タバコを吸わないでください。

着火源となるコンセントやスイッチに**触れない**でください。

扉や窓を十分に開けて、**風通しをよくして**ガスを室外へ追い出してください。

ガス警報器が作動したり、ガス臭いと感じたときには**すぐにガス事業者へ**連絡してください。点検を受けるまではガスを使わないでください。



* 換気扇は絶対に回さないでください。回っている換気扇はそのままにしておいてください。



災害時の対応

火災のときは

メーターガス栓を閉め、消防署・ガス事業者に連絡し、消防署員などに、あとの処理を頼んでください。



避難のときは

ガス機器の器具栓やガス栓を閉め、ご近所と協力し合っ
て行動しましょう。高齢者や
けが人には手をかけてあげ
ましょう。



ガス事業者の主な保安体制

- 24時間・365日の保安体制
ガスもれ、ガス事故などの緊急時に備えて、係員が待機しています。
- 保安点検
法令に基づき定期的にお客さま宅にお伺いし、**ガスもれ点検**や**給排気設備の調査**を行っています。

点検・訪問詐欺にご注意ください!!

ガス警報器等の悪質な訪問販売、点検などによる被害が発生しています。不審に思ったときは、書類にサインしたりお金を支払わず、ニチガスまでお問い合わせください。

検針業務・保安業務・配送業務に モバイルを活用しています。

ニチガスではお客様のガス設備や消費設備の保安点検及び検針業務などに、独自に開発したアプリを活用。スマートフォンを利用したモバイルシステムにて業務を行うことにより、業務の効率化及び処理能力の向上、伝票など紙類の削減、郵送料の削減など、さまざまなメリットが生まれています。

お願い

お客様自宅で弊社担当者がスマートフォンを操作することがございますが、これは上記モバイルシステムへの入力作業であり、メールやインターネットなどの使用ではございません。ご理解の程お願い申し上げます。



日本瓦斯株式会社 <http://www.nichigas.co.jp/>